



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 新日本製鐵株式會社
 コード番号 5401 URL <http://www.nsc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報センター所長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

上場取引所 東大名札福

(氏名) 宗岡 正二
 (氏名) 高橋 望

TEL 03-6867-2130

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	960,684	△2.5	△6,268	—	9,284	△83.7	△87,530	—
24年3月期第1四半期	985,548	1.5	38,591	△24.5	57,015	△7.9	29,090	8.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △52,020百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 32,748百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△13.92	—
24年3月期第1四半期	4.63	4.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,844,641	2,285,870	36.5
24年3月期	4,924,711	2,347,343	37.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,766,974百万円 24年3月期 1,828,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1.50	—	1.00	2.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

平成25年3月期第2四半期(累計)の連結業績につきましては、売上高1兆9,500億円、経常利益100億円、四半期純利益△850億円(△13.51円/株)を予想しております。なお、四半期純利益につきましては、特別損失(投資有価証券評価損)を当第1四半期と同額として算出しております。

平成25年3月期(通期)の業績予想につきましては、平成24年10月1日の住友金属工業(株)との経営統合後、公表する予定であります。

※詳細につきましては、4ページ「2.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、5ページ「3.(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	6,806,980,977 株	24年3月期	6,806,980,977 株
25年3月期1Q	517,346,822 株	24年3月期	517,325,579 株
25年3月期1Q	6,289,645,336 株	24年3月期1Q	6,289,782,298 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

1. 連結経営成績に関する定性的情報	2
2. 連結業績予想に関する定性的情報	4
3. その他	5
4. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 注記事項	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当第1四半期の世界経済及び日本経済)

世界経済は、米国において緩やかな景気拡大が続く一方、欧州経済の停滞、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化により、全体として景気の拡大テンポが弱まりました。

日本経済は、歴史的な円高水準が継続しているものの、企業の生産活動水準が震災前の水準にほぼ回復し、政策効果と復興関連需要の顕在化により、個人消費及び民間設備投資が堅調に推移するなど、緩やかな回復が続きました。

(当第1四半期のセグメント別の業績概況)

こうしたなか、当社グループは、各セグメントにおいて、各社がそれぞれの環境変化に対応しながら収益改善に努めてまいりました。

各セグメント別の業績の概況は以下のとおりです。

(単位 億円)

	売上高		経常利益	
	当第1四半期	前第1四半期	当第1四半期	前第1四半期
製鉄	8,236	8,519	66	485
エンジニアリング	696	440	40	2
都市開発	166	127	23	23
化学	416	483	7	36
新素材	110	142	3	2
システムソリューション	378	362	24	29
合計	10,004	10,075	165	579
調整額	△397	△220	△72	△9
四半期連結損益計算書計上額	9,606	9,855	92	570

<製鉄事業>

国内鉄鋼需要は、造船向けが大幅に減少したものの、建設及び自動車・産業機械向けは堅調に推移し、全体として一定水準が維持されました。輸出につきましては、タイにおいて洪水被害から生産水準が回復したこと等によりアジア新興国向けが増加しました。平成24年度第1四半期の全国粗鋼生産量は2,750万トンと、平成23年度第4四半期に比べ93万トン増加しました。

一方、歴史的な円高の継続により輸出競争力が低下していることに加え、韓国・中国からの供給圧力が依然強く、輸入鋼材の流入が引き続き拡大するとともに、東アジアにおける供給過剰を背景に鋼材市況は軟化しました。

こうした厳しい経営環境下、当社と致しましては、これまで同様、コスト改善を最大限実行してまいりました。製鉄事業として売上高は8,236億円、経常利益は66億円となりました。

＜エンジニアリング事業＞

新日鉄エンジニアリング(株)におきましては、国内外ともに厳しい受注環境が継続するなかで、実行中のプロジェクトの万全なリスク管理とコスト改善に注力した結果、エンジニアリング事業として売上高は696億円、経常利益は40億円となりました。

＜都市開発事業＞

(株)新日鉄都市開発におきましては、マンション分譲市場は首都圏を中心に好調に推移していますが、ビル賃貸市場においては、都心の大型高機能物件を除き空室率は高止まりしています。都市開発事業として売上高は166億円、経常利益は23億円となりました。

＜化学事業＞

新日鉄化学(株)におきましては、電子材料向けエポキシ樹脂の販売が回復し、無水フタル酸市況は堅調に推移しました。一方、スチレンモノマーの販売数量が大幅に減少し、スマートフォン向け回路材料製品も厳しい状況にありました。化学事業として売上高は416億円、経常利益は7億円となりました。

＜新素材事業＞

新日鉄マテリアルズ(株)におきましては、各事業分野において需要が低迷していますが、主力事業である電子材料分野において、表面処理銅ワイヤの出荷は好調に推移しました。新素材事業として売上高は110億円、経常利益は3億円となりました。

＜システムソリューション事業＞

新日鉄ソリューションズ(株)におきましては、本年5月に開業した第5データセンターを活用し、クラウド事業の強化・拡充を図るとともに、顧客企業のグローバル展開へ対応すべく、アジア地域における事業拡大を推進しております。システムソリューション事業として売上高は378億円、経常利益は24億円となりました。

(当第1四半期の売上・収益)

当第1四半期の連結業績は、売上高は9,606億円、営業利益は△62億円、経常利益は92億円、株式市場低迷による国内上場株式等の投資有価証券評価損等の特別損失により四半期純利益は△875億円となりました。

2. 連結業績予想に関する定性的情報

国内鉄鋼需要は、建設及び自動車・産業機械向け需要が引き続き堅調に推移するとともに、輸出につきましても、東南アジア向け需要は堅調に推移するものと見込まれます。

一方、東アジアにおける供給過剰を背景に、中国等の主要ミルがリストプライスを引き下げる等、鋼材市況が下落しております。

こうしたなか、内外の経済や鋼材需給動向等に注意を払ってまいりますが、中国等の主要ミルの採算悪化が想定されること、また国内での比較的堅調な需要を背景に市況の底値感が出ている動きもあることから、各地域の市況が底を打ち反転し、鋼材価格が徐々に回復していくことを期待しております。

当社と致しましては、コスト改善を含め最大限の自助努力を引き続き実行していくとともに、お客様への提案力を一層強化し、鋼材価格につきましても需要家の皆様に御理解いただけるよう丁寧な対応を継続していく所存です。

上半期の連結業績につきましては、売上高1兆9,500億円、経常利益100億円、四半期純利益△850億円を予想しております。なお、四半期純利益については、特別損失（投資有価証券評価損）を当第1四半期と同額として算出しております。

平成24年度通期の業績予想につきましては、本年10月1日に予定している住友金属工業(株)との経営統合後、公表する予定です。

(利益配分に関する基本方針及び第2四半期末（中間期末）の剰余金配当)

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末（中間期末）及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準と致します。なお、第2四半期末（中間期末）の剰余金の配当は、中間期業績及び年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。

当第2四半期（中間期末）の剰余金の配当につきましては、上記方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、誠に遺憾ではありますが、実施を見送る方針とさせていただきます。

なお、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定です。

3. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結累計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,878	85,089
受取手形及び売掛金	442,621	421,615
たな卸資産	947,534	917,515
その他	260,076	217,458
貸倒引当金	△594	△380
流動資産合計	1,703,515	1,641,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	498,057	503,028
機械装置及び運搬具（純額）	808,559	837,403
その他（純額）	509,249	493,852
有形固定資産合計	1,815,866	1,834,284
無形固定資産		
投資その他の資産	70,020	73,043
投資有価証券	1,112,084	1,062,702
その他	227,332	237,342
貸倒引当金	△4,109	△4,028
投資その他の資産合計	1,335,307	1,296,016
固定資産合計	3,221,195	3,203,343
資産合計	4,924,711	4,844,641
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	471,663	441,503
短期借入金	277,424	293,857
1年内償還予定の社債	55,000	75,000
未払法人税等	22,514	11,556
引当金	6,812	5,145
その他	502,796	482,774
流動負債合計	1,336,211	1,309,838
固定負債		
社債	380,073	360,074
長期借入金	615,255	648,363
退職給付引当金	153,293	151,421
その他の引当金	22,934	19,197
その他	69,598	69,876
固定負債合計	1,241,155	1,248,933
負債合計	2,577,367	2,558,771

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,524	419,524
資本剰余金	114,546	114,545
利益剰余金	1,552,826	1,459,164
自己株式	△262,573	△262,578
株主資本合計	1,824,324	1,730,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,834	81,282
繰延ヘッジ損益	△1,698	△4,270
土地再評価差額金	12,770	12,770
為替換算調整勘定	△77,327	△53,463
その他の包括利益累計額合計	4,578	36,318
少数株主持分	518,440	518,895
純資産合計	2,347,343	2,285,870
負債純資産合計	4,924,711	4,844,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	985,548	960,684
売上原価	864,872	885,981
売上総利益	120,676	74,702
販売費及び一般管理費	82,085	80,971
営業利益又は営業損失(△)	38,591	△6,268
営業外収益		
受取利息	839	834
受取配当金	6,321	5,054
持分法による投資利益	15,350	17,575
その他	11,908	7,844
営業外収益合計	34,420	31,310
営業外費用		
支払利息	4,465	4,560
その他	11,530	11,197
営業外費用合計	15,995	15,757
経常利益	57,015	9,284
特別損失		
投資有価証券売却損	7,440	—
投資有価証券評価損	—	96,329
特別損失合計	7,440	96,329
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	49,575	△87,045
法人税等	16,382	△1,745
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	33,192	△85,299
少数株主利益	4,101	2,231
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,090	△87,530

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	33,192	△85,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,579	11,060
繰延ヘッジ損益	△559	△2,576
為替換算調整勘定	5,871	12,019
持分法適用会社に対する持分相当額	8,822	12,775
その他の包括利益合計	△443	33,278
四半期包括利益	32,748	△52,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,982	△55,790
少数株主に係る四半期包括利益	4,765	3,769

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

(4) 注記事項

四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、下記のとおりである。

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
減価償却費	66,686	59,292

(5) セグメント情報

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

前第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	製鉄	エンジニア リング	都市開発	化学	新素材	システム ソリューション			
売上高	851,920	44,076	12,765	48,302	14,212	36,296	1,007,573	△22,024	985,548
セグメント利益 （経常利益）	48,592	228	2,302	3,638	297	2,908	57,968	△952	57,015

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	製鉄	エンジニア リング	都市開発	化学	新素材	システム ソリューション			
売上高	823,619	69,619	16,613	41,694	11,032	37,898	1,000,478	△39,793	960,684
セグメント利益 （経常利益）	6,621	4,067	2,347	741	311	2,439	16,530	△7,246	9,284

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

平成24年度1/四期決算について

<損益概要等(連結)>

(単位:億円)

	H24.1/四	H23.4/四	H23.4/四 →H24.1/四
売上高	9,606	10,211	▼ 605
営業利益	▲ 62	▲ 27	× 35
経常利益	92	188	※ × 96
単独経常利益	▲ 148	▲ 149	○ 1
特別損益	▲ 963	735	× 1,698
当期利益	▲ 875	597	× 1,472
<一株当たり当期利益>	<▲ 13.9>	<9.5>	<× 23.4>
有利子負債残高	13,833	13,345	+488

D/Eレシオ 0.78 0.73 +0.05

<特別損益内訳>

	H24.1/四	H23.4/四
投資有価証券評価損	▲ 963	773
投資有価証券売却益	-	159
設備休止関連損失	-	▲ 74
投資有価証券売却損	-	▲ 1
事業整理損	-	▲ 121
合計	▲ 963	735

※ 連結経常利益の対前半期(×96億円)分析 (単位:億円)

連結経常利益 差異	× 100
1. 製鉄事業	○ 20
(1) 単独	~
① 生産出荷 +25万t(721→746万t)	○ 50
② 販売価格・構成	× 150
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	○ 300
④ コスト改善	○ 70
⑤ 在庫評価差	× 200
⑥ その他	× 70
(2) グループ会社等	○ 20
2. 非鉄事業	× 90
3. 調整額	× 30

(参考)

■ 事業統合・経営基盤強化

時期	社名	具体的内容
H23.10月	ジオスター(株)	東京エコン建鉄(株)とジオスター(株)の合併・連結子会社化
H23.10月	NSMコイルセンター(株)	日鐵商事(株)、三井物産スチール(株)、新日本製鐵(株)3社のコイルセンター事業統合
H23.10月	武鋼新日鉄(武漢)ブリキ有限公司	武漢鉄鋼(集団)会社とブリキ製造・販売の合併会社設立
H23.11月	AL Ghurair Iron & Steel L.L.C.	アラブ首長国連邦溶融亜鉛メッキ鋼板製造・販売会社の持分法適用関連会社化
H24.1月	株日鐵テクノリサーチ	株日鐵テクノリサーチを事業持株会社とし、試験分析会社5社を子会社化する事業統合
H24.1月	日鐵物流(株)	日鐵物流(株)が日鐵運輸(株)を完全子会社化し、物流サービス事業統合

■ その他既公表案件

- 成形性を2倍に高めた自動車用超ハイテンが世界で初めて実用化(H23.10月公表)
- 日鉄住金鋼板 伊藤忠丸紅鉄鋼及びベトナム現地パートナー2社と合併によりカー鋼板製造会社を設立(H23.10月公表)
- (株)富士鉄鋼センターによる青柳鋼材興業(株)厚板溶断加工事業の譲受けに関する基本合意について(H23.12月公表)
- 6インチ口径炭化ケイ素単結晶ウエハの開発に成功(H23.12月公表)
- ウジミナス社の協定株購入契約に基づく株式の購入および新株主間協定の発効について(H24.1月公表)
- (株)新日鉄都市開発と興和不動産(株)の経営統合について(H24.3月公表)
- 独ヘルウス社へ新型銅ボンディングワイヤ(EX1)に関するライセンスを供与(H24.4月公表)
- 釜石製鉄所 港湾等設備の完全復旧について(H24.5月公表)
- 鋼製家具製造会社エヌエスコカムの操業再開について(H24.5月公表)
- 君津第二高炉(第四次)火入れについて(H24.5月公表)
- 日鉄パイプライン株式会社と住友金属パイプエッジ株式会社との経営統合に関する合意について(H24.6月公表)

■ 経営統合関連

- 新日本製鐵(株)と住友金属工業(株)との統合基本契約の締結について(H23.9月公表)
- 新日本製鐵(株)と住友金属工業(株)との経営統合に関する最終合意の成立について(H24.4月27日公表)
- 株主総会における新日本製鐵(株)と住友金属工業(株)の経営統合の承認について(H24.6月26日公表)

<諸元> (1) 当社

	H24.1/四	H23.4/四	H23.4/四 →H24.1/四
連結粗鋼生産量(万t)	829	798	+ 32
(単独ベース)	(770)	(739)	(+ 32)
鋼材出荷量(万t)	746	721	+ 25
鋼材価格(千円/t)	80.0	81.5	× 1.5
為替(円/＄)	81	78	3円安

(2) 全国

	H24.1/四	H23.4/四	H23.4/四 →H24.1/四
粗鋼生産量(万t)	2,750	2,657	+ 93
鋼材消費(万t) *1	1,553	1,609	▼ 56
(うち製造業)	(1,040)	(1,090)	(▼ 50)
<製造業比率>	<67%>	<68%>	<▼ 0.8%>
普通鋼鋼材消費(万t)	1,233	1,282	▼ 49
建設	481	488	▼ 7
製造業	751	794	▼ 43
特殊鋼鋼材消費(万t)	320	327	▼ 7
鋼材輸入(万t) *1	160	154	+ 6
鋼材輸出(万t) *1	1,060	930	+ 130
国内メーカー問屋在庫(万t)	553	551	+ 2
薄板三品在庫(万t) *2	407	411	▼ 4

*1 当社推定値
*2 5月末(確報)

(参考) セグメント情報

(単位:億円)

	H24.1/四	H23.4/四	H23.4/四 →H24.1/四
売上高	9,606	10,211	▼ 605
製鉄	8,236	8,354	▼ 118
エンジニアリング	696	874	▼ 178
都市開発	166	277	▼ 111
化学	416	477	▼ 61
新素材	110	121	▼ 11
システムソリューション	378	508	▼ 130
調整額	▲ 397	▲ 403	+ 6

	H24.1/四	H23.4/四	H23.4/四 →H24.1/四
経常利益	92	188	× 96
製鉄	66	45	○ 21
エンジニアリング	40	99	× 59
都市開発	23	16	○ 7
化学	7	28	× 21
新素材	3	3	× 0
システムソリューション	24	39	× 15
調整額	▲ 72	▲ 44	× 28

平成24年度 上期見通しについて

<損益見通し(連結)>

	H24			H23 下実	H23下実 →H24上見
	1/四	2/四見	上見		
売上高	9,606	9,894	19,500	20,631	▲ 1,131
経常利益	92	8	100	487	※2 × 387
単独経常利益	▲ 148	▲ 52	▲ 200	▲ 193	× 7
特別損益	▲ 963	-	▲ 963	▲ 155	× 808
当期利益	▲ 875	25	※1 ▲ 850	96	× 946
<一株当たり当期利益>	<▲ 13.9>	<0.4>	<▲ 13.5>	<1.5>	<× 15.0>

(参考)セグメント情報

※1 特別損益(投資有価証券評価損)を第1四半期と同額で仮置き

	9,606	9,894	19,500	20,631	▼ 1,131
売上高					
製鉄	8,236	8,264	16,500	17,252	▼ 752
エンジニアリング	696	604	1,300	1,521	▼ 221
都市開発	166	134	300	524	▼ 224
化学	416	434	850	966	▼ 116
新素材	110	140	250	256	▼ 6
システムソリューション	378	422	800	853	▼ 53
調整額	▲ 397	▲ 103	▲ 500	▲ 743	+243
経常利益	92	8	100	487	× 387
製鉄	66	▲ 16	50	245	× 195
エンジニアリング	40	0	40	126	× 86
都市開発	23	17	40	53	× 13
化学	7	23	30	62	× 32
新素材	3	2	5	0	○5
システムソリューション	24	26	50	58	× 8
調整額	▲ 72	▲ 43	▲ 115	▲ 58	× 57

※2 連結経常利益差異の内訳

連結経常利益 差異	H23下実 →H24上見
1. 製鉄事業	× 200
(1) 単独	× 10
①生産出荷+80万t程度(1,441→1,520万t)	○ 200
②販売価格・構成	× 900
③原料価格(キャリアオーバー含む)	○ 900
④コスト改善	○ 250
⑤在庫評価差	× 300
⑥その他	× 160
(2) グループ会社等	× 190
2. 非鉄事業	× 130
3. 調整額	× 60

<諸元>

(1) 当社

	H24上見	H23下実	H23下実 →H24上見
連結粗鋼生産量(万t) (単独ベース)	1,690程度 (1,570程度)	1,583 (1,467)	+ 107 (+ 103)
鋼材出荷量(万t)	1,520程度	1,441	+ 79
鋼材価格(千円/t)	80程度	84.5	× 4.5
為替(円/\$)	80程度	78	2円安

(2) 全国

	H24上見	H23下実	H23下実 →H24上見
粗鋼生産量(万t)	5,460	5,315	+ 145
鋼材消費(万t) *1 (うち製造業) <製造業比率>	3,120 (2,072) <66%>	3,244 (2,180) <67%>	▼ 124 (▼ 108) <▼0.8%>
普通鋼鋼材消費(万t)	2,480	2,583	▼ 103
建設	984	999	▼ 15
製造業	1,496	1,584	▼ 88
特殊鋼鋼材消費(万t)	640	661	▼ 21
鋼材輸入(万t) *1	325	334	▼ 9
鋼材輸出(万t) *1	2,075	1,770	+ 305

*1 当社推定値

(注) 上記の予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

<剰余金の配当方針(第2四半期末)について>

当第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、誠に遺憾ではありますが、実施を見送る方針とさせていただきます。

なお、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定です。

新日本製鐵株式會社

コード番号 5401 上場取引所 東京、大阪、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 高橋 望

TEL (03)6867-2130

<平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位: 万トン

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
H23年度	2,637	2,695	5,332	2,658	2,657	5,315	10,646
H24年度	2,750	(※)2,710程度	5,460				

(※)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー在庫	(在庫率)	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理	ときわ会H形鋼
	万トン	%	万トン	万トン
H22. 6 末	495	(120.1)	363	20.9
H22. 7 末	491	(121.7)	369	20.3
H22. 8 末	503	(134.0)	384	18.3
H22. 9 末	505	(125.2)	381	16.5
H22. 10 末	523	(134.0)	392	16.0
H22. 11 末	500	(124.0)	375	14.9
H22. 12 末	516	(138.2)	382	14.9
H23. 1 末	518	(130.7)	387	16.0
H23. 2 末	519	(136.1)	374	17.5
H23. 3 末	517	(128.5)	383	18.3
H23. 4 末	538	(152.1)	404	18.8
H23. 5 末	566	(155.7)	420	20.6
H23. 6 末	560	(141.9)	421	21.5
H23. 7 末	543	(139.6)	418	20.6
H23. 8 末	562	(152.1)	435	19.3
H23. 9 末	564	(141.7)	438	18.1
H23. 10 末	557	(132.4)	435	17.9
H23. 11 末	555	(137.3)	425	17.3
H23. 12 末	558	(146.7)	432	17.4
H24. 1 末	562	(147.4)	428	17.5
H24. 2 末	555	(139.1)	415	18.8
H24. 3 末	551	(126.1)	411	20.3
H24. 4 末	552	(149.7)	404	20.3
H24. 5 末	553	(141.4)	407	19.5

〔当社〕

3. 出銑量(当社+北海製鉄)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H23年度	776	803	1,579	757	741	1,498	3,077
H24年度	778	820程度	1,600程度				

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社+連結子会社

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H23年度	830	831	1,661	785	798	1,583	3,244
H24年度	829	860程度	1,690程度				

【参考：単独ベース】

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H23年度	775	778	1,553	729	739	1,467	3,020
H24年度	770	800程度	1,570程度				

5. 鋼材出荷量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H23年度	740	728	1,468	720	721	1,441	2,909
H24年度	746	770程度	1,520程度				

6. 鋼材平均価格

単位:千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H23年度	85.8	89.8	87.8	87.6	81.5	84.5	86.2
H24年度	80.0	79程度	80程度				

7. 鋼材輸出比率（金額ベース）

単位:%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H23年度	41.9	40.1	41.0	36.9	37.8	37.4	39.2
H24年度	42.2	41程度	42程度				

8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H23年度	82	78	80	78	78	78	79
H24年度	81	80程度	80程度				

以 上